

## 平成27年 第2回黒部市総合教育会議 議事録

開会年月日 会場	平成27年11月27日(金)午後2時00分 黒部市役所 第2委員会室
出席者 (6人)	市長 堀内 康男 教育委員 村田 聖士(委員長)、大丸 勝男(委員長職務代理者)、 川崎 正美、水野 恵子、能澤 雄二(教育長)
出席職員 (13人)	<市長部局> 総務企画部長 柳田 守 総務課長 長田 行正 総務課 課長補佐 行政係長 越 雄一 <教育委員会事務局> 教育部長 瀧澤 茂宏 事務局次長・学校教育課長・給食センター所長 御囲 泰晃 事務局次長・生涯学習課長 飯野 勉 スポーツ課長・フルマラソン推進班長 魚谷八寿裕 図書館長・図書館構想推進班長 中谷 松憲 こども支援課長 霜野 好真 学校教育課 学校教育班長 尾村 国昭 生涯学習課 社会教育班長 横山 栄人 生涯学習課 ジオパーク推進班長 西中 雅博 学校教育課 課長補佐 庶務係長 神保 竜
会議開始	午後2時00分
事務局 (学校教育課長) 市長	只今から総合教育会議を始めます。はじめに市長からご挨拶いただきます。  皆さんご苦労様でございます。本日は総合教育会議を招集しましたところ、ご多用の中お集まりいただき、ありがとうございます。今回は2回目ではありますが、本日の議題であります、「黒部市教育大綱」についてご協議賜りたいと思います。この大綱は、黒部市の教育、学術、文化、スポーツの振興の総合的な考え方、方針をまとめていくものでございます。  さて、新幹線が今年3月に開業しまして、新しい時代を迎えております。関東方面への移動が便利になっただけでなく、黒部市の価値、評価が変わってきており、教育の面におきましても、経済や観光面におきましても新しい時代を迎えたと感じられる今日この頃でございます。今後は、新幹線の開業効果をどのように持続していくかということが非常に重要であります。様々な面においてそれらを執り行なっていくには人づくりということが重要になると考えております。これからの黒部市の人材を育てていくにあたり、大綱としてどのような内容がふさわしいかということについて教育委員の皆さん方には是非とも忌憚のないご意見を頂きまして、しっかりとまとめてまいりたいと思っております。よろしく申し上げます。

事務局  
(学校教育課長)

続きまして次第の3番協議2に移りますが、会議の進行につきましては市長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

市長

それでは会議を進めてまいりたいと思います。はじめに教育大綱(案)についてであります。事務局から説明願います。

事務局  
(学校教育課長補佐)

それでは、黒部市教育大綱(案)について説明いたします。資料1をご覧ください。

この案は、去る8月27日に開催いたしました、第1回黒部市総合教育会議において、策定イメージや骨格についてご協議いただき了承されたものを具体化したものであります。本日は、さらに内容についてご協議いただきまして、最終的には2月に予定します第3回会議に向けて完成形にしてまいりたいと考えております。

まず1ページでございます。1番目に大綱の策定ということで、基本的事項を記載しております。内容は、黒部市の教育、学術および文化の振興に関する総合的な政策についての方針を定めること、教育行政に係る実情に即したものとすることについて定めております。

次に2番目の大綱の位置づけについてであります。こちらは前回の協議でもございましたが、黒部市の最上位計画となります、「黒部市総合振興計画」と教育委員会で作成しております「黒部市教育の方針」との中間的な位置付けとすることとしております。

次に3番目の大綱の対象期間についてであります。こちらは総合振興計画の策定期間との兼ね合いもございまして、今回つくり出す大綱は、策定した時点から総合振興計画の最終年であります平成29年度までの間ということで設定したいと考えております。それから先般、市の庁議がございまして、第2次黒部市総合振興計画策定スケジュール(案)が示されまして、平成29年12月には策定し議会に報告するということとあります。当初、総合振興計画が平成29年度の3月に決まった場合、直ちに大綱を作ることは難しいとの懸念もございましたが、12月ということであれば、残りの3ヶ月を活用して総合振興計画との整合性のとれた大綱を策定できるものと考えております。また、対象期間の下に赤字で記載してございますが、計画期間は、3年、5年となりますが、大綱は、より実情に即したものとなることが望ましいと考えており、国の制度的な変更や黒部市教育に関わる状況等に変化があった場合には大綱の一部改正、見直しも可能としようとするものであります。もちろん、その際には、総合教育会議の場において、市長、教育委員会の協議によってなされるということと定めております。

次に2ページご覧ください。4番目に大綱の理念と体系図であります。これは大綱の全体像を示すものでありまして、まず基本理念としまして、「明日の黒部を育む人づくり」とさせていただきます。その下に基本方針、基本施策の順序で構成されているということとあります。あくまでも素案ですので、この構成につきましても、ご協議いただければと思います。基本理念にもありますように、大綱のキーワードを「人づくり」としましたので、全ての基本施策において「人づくり」を共通項としております。

以降、3ページから5ページにわたり、基本施策の具体的な内容を記載しておりますが、説明は省略させていただきます。

最後のページになりますが6番として、当面する重点政策を記載しております。第1回会議では、ここまでは想定していませんでしたが、市の教育行政の中で、比較的大きな事業を抜き出して記載することも、大綱の構成要素となりうると思えまして、事務局からの提案として掲載しております。(1)(2)が具体的過ぎるような気もしますが、

あくまでもたたき台でございますので、皆さんでご協議いただければと思います。説明は以上です。

市長 只今説明いただきました教育大綱（案）について何かご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

構成内容、対象期間等ありますが、まず構成内容についてご意見があればお願いしたいと思います。

委員長 2ページの基本理念は、これで良いと思いますが、基本方針と基本施策の言葉が似通っているように思います。一般的な感覚でいうと、基本施策は具体的な事例を記載し、方針というのは、方向などを示すといったイメージですが、基本方針と基本施策の言葉がかぶっている感じがします。基本施策の「人づくり」という言葉は生かして基本方針の方に入れて、基本施策は、この体系図に入れる必要はないと思います。基本施策は、具体的な取り組みとして、その次の5番の項目に入っていけば良いと思います。基本理念があって基本方針として、1つ目は家庭地域教育を通じた人づくり、2つ目は学校教育を通じた人づくり、3つ目はスポーツ・社会教育を通じた人づくりとした方が良いのではないかと思います。

市長 今回の件について、基本方針と基本施策が今のままだと似通った表現だということで、それをまとめた上で基本施策は3ページ以降の内容のものを行っていくのはどうかとの意見ですが事務局的にはどうですか。

事務局（学校教育課長） 昨日の打ち合わせの場でもご指摘いただいております、2月には最終的な形にまとめていきたいと思っております。ご意見いただいて修正できる部分は、この場で修正していきたいと考えております。

市長 確かにこの体系図を見ますと基本方針と施策は似たような要件かなという気がします。今言われたような基本方針等については、今後も色々整理が必要な部分もあるかと思えます。この辺は次回までに整理をさせたいと思います。

委員長 もう一点ですが、6ページにあります重点政策が具体的過ぎで、大綱のレベルとしては少し細か過ぎるような気がします。項目と説明文は2行程度でまとめ、ここまでの詳細な説明はいらないと思います。項目と目的だけにして今期の大綱の期間の範囲でできることを明示するだけでよいと思います。

市長 確かに、重点施策案は非常に細かいと思います。教育委員会の思いだと思いますが、これは平成29年度までの大綱（案）ですので、委員長も言われるように表現方法は整理が必要だと思います。

委員長 今期中にこういうことをしたいと、来期に向けてこういう準備をしていくという程度の表現は、あってもいいと思います。

委員 そうすると、他の3項目（立山ジオパーク、東京オリンピック事前合宿、市立図書館建築）も大綱に記載しやすくなります。

委員長 今期に準備しなければいけない項目ではありますので、大綱には触れてはおきたい項目です。

市長 今の発言に対して事務局はいかがですか。

事務局 (学校教育課長) 基本施策を実現するために当面する具体的な取組みという形で、今ほど言われるように詳細までは記載せずに項目を挙げて、2行程度に整理をしたいと思います。また、この5つの項目以外にも、掲載すべき事項がありましたらご意見を頂きたいと思います。

市長 他に何かご発言ございませんでしょうか。

委員 4ページですが、図書館とか公民館とか赤字で入っていますね。それはすごく良かったなと思います。表現について一つお願いします。「自然や科学に興味を育てる」となっていますが、「興味、関心を育てる」という言い方があります。「関心」という言葉を入れてはどうかと思いますが、検討していただければと思います。

市長 只今のご意見も検討したいと思います。他にご発言ございませんでしょうか。

委員長 大綱の期間についてですが、総合振興計画に合わせた年度で区切るということで、良いと思います。基本的には5年間として、初年度となる最初は3年間、あとは5年後ということでよいと思います。

市長 総合振興計画は、黒部市の最上位計画という位置づけは今後も変えない予定です。現在、国が進めている総合戦略の話がありまして、今年度から5ヵ年の総合戦略を策定し、実現に向けて努力せよということではありますが、あくまでも総合振興計画は最上位計画であって、総合振興計画との整合を図りながら総合戦略も進めていくということが基本的な考え方だと考えております。今の総合振興計画も29年度までですので、28年度29年度にかけて第2次の総合振興計画の策定に取り掛かります。総合戦略の中で具体的に書かれている内容につきまして総合振興計画の中で、どのように位置付けていくのかということが非常に重要で、それらについては28年度29年度の議論の中で決めていくということになっております。そういう意味ではこの教育大綱においても是非実現したいという内容については総合教育会議としてとりまとめておいて、その上で総合計画に反映してもらうということが必要になると思っております。

他に何か、ここに書いてある内容について、どんなことでもいいですから。例えば立山黒部ジオパークの世界認定をいつまで目指すのかということについては、2019年に世界認定を目指したいと考えておりまして、そのためにはいつまで申請しないといけないのか、2019年だったら2017年、前々年に認定に向けた申請をしないといけないということになります。2017年に申請する場合、国内審査がその前年になりますので、実はあまり時間がないということになります。国内審査が通らないと世界申請できませんので、そういうスケジュール的なことも皆さんと共通認識のもと進めてまいりたいと思います。具体的な内容は、この場で議論するものではございませんが、しっかりと準備をしていくことが大事だと思います。図書館につきましても、28年度、29年度など第2次総合振興計画の中に位置付けることとなりますので、28年度の議論が非常に重要になって

くると考えております。その辺についても、皆さん方とも具体的な議論ができるように準備していただきたいと思っております。ジオパークについては、ユネスコの正式なプログラムということで今月決定をしましたので、今後は世界認定が受けられればユネスコのマークが使えるとかそういうことになってきて非常に高い評価をいただけるようになります。けれどもハードルもかなり上がると、審査は今まで以上に厳しくなるだろうと思っております。しっかりと考えて取り組んでいかなければいけないと思います。

他に何か、いろいろな基本的な施策なり内容のところでご意見等があれば。

よろしいでしょうか。今ほど頂いた意見を事務局で精査させていただいて、次回最終回の2月の教育会議で最終案として取りまとめたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

委員長

最終的に決定するのは2月ですが、今日の協議での意見を反映したものを確認できる機会など、2月までの間に協議できる機会があれば良いと思います。

事務局  
(学校教育課長)

大綱の最終的な決定は、2月の第3回総合教育会議を予定していますが、それまでの間におきましても、精査しながら必要に応じて協議できる場を設けたいと思います。

市長

大綱は、この会議に限らず事務方においても整理していく作業期間というものもありますのでよろしくお願いします。

オリンピックの合宿誘致についてであります。まず、どういう競技が誘致できるか絞り込むということもありますが、地元における組織、競技協会などが受け入れられる状況かということも重要と考えております。さらには誘致する上での国際基準を満たせるかということもあります。例えば、どこかにグラウンドや体育館があるだけではなく、オリンピックの国際基準を満たした場を提供できるのかということもあります。場合によっては、大きな費用がかかる話ですし、本当にクリアできるのかということも見極めながら慎重に進めていく必要があります。掛け声だけ大きくても、国際基準や条件を聞いたら、やっぱり無理ですということにならないよう、しっかりと調査したうえで誘致しなければならないということです。いくつかできる種目はあると思っておりますので、それについても皆さんからご意見、ご指導を頂きたいと思っております。以前、知事を交えた市町村長会議の場で私からもオリンピックの合宿誘致に対する県の支援をお願いしてまいりました。単独では難しい点もありますので、誘致に対する支援と国際基準を満たすための支援をお願いしてきました。県も積極的に誘致活動をしたいという方針がありますので、連携してまいりたいと思います。

次の協議事項に入りたいと思います。平成28年度教育予算等に係る意見交換に入りたいと思います。場合によっては答えられない案件もありますがざっくりばらんにご発言いただきたいと思っております。

委員長

具体的にお答えいただくのは難しい部分もあると思っておりますが、来年度予算編成にあたっての教育委員会としての意見、要望をいくつかお伝えしたいと思います。まず、姉妹都市メーコン・ビブ郡への中学生派遣事業であります。昨年中学3年生の子どもたち8人が訪問してきました。非常にありがたい事業ですし、私の息子も行かせていただきまして、本当にいい経験をさせていただいたと思います。ただ、派遣事業としては、隔年で3年生のみ8人と限られています。予算の都合もあると思っておりますが、同じ3年生でも行きたいと思っても行けない子どもたちがいる中で、派遣が隔年のため、事業に参加できない学年が出てくる状況となっております。できれば毎年にしていただきたいという

気持ちもありますが、要望としましては、3年生だけのところを2年生3年生を対象にして、人数も8人から16人くらいの規模でやっていただければ年よっての行けないということがなくなるのではないかと思います。行ける子どもたちを増やして欲しいと思います。また、そういう子たちが伝道師になってアメリカは非常に良かったよと言う子が増えるのではないかと思います。是非ご検討いただきたいと思います。

委員

スタディ・メイトについてですが、昨年も増員していただきまして、学校現場からは、本当にありがたいという声が多く届いております。児童は勿論ですが、学校としても授業に安定感が生まれ、他の子どもたちも落ち着いた環境の中で学習ができるということでもあります。小学校は、おかげさまで充実してきていますが、要対応児童が中学校へ上がってまいりますので、中学校でもスタディ・メイトを配置する必要性が高まってきております。出来れば、来年度も増員していただきたいと思います。

委員

先ほどの中学生の派遣事業の件ですが、先ほど給食訪問ということで、生地小学校で給食を食べてまいりましたが、4年生の女の子に「好きな教科は何」と聞きましたら英語という返事が返ってきました。小学生が英語を好きという言葉は初めて聞きましたので驚きました。将来を担う子のためにも委員長の言われたご意見も是非取り入れていただきたいと思います。次に、生涯学習課の分野でのお願いになります。今回特にお願いしたいのは、市のPTA連絡協議会の活動調整費、市長も教育長も私も市P連の会長でしたが、非常に予算がございません。ましてや来年度から県Pへの上納金の単価が110円から130円になると、市P連の会費が150円から130円上納しないといけないということになります。市P連の活動が減っている影響もありますし、活動も制限されると、市P連の活動がそんなに重要なことなのかということもありますが、最近の学校の現状を見ていますと親の力、PTAの役割が大きくなってきております。単独PTA組織での取り組みも大切ですが、PTA組織の横の連携も大切であります。市P連で研修会を開催したり、最近特に親を育てる「親学び」というような講座も開催されており、講師への謝礼なり、交通費なりのお金がかかるということもあります。そういった積極的な活動に対して、支援いただきたいと思います。今回の大綱の協議にもありましたが、人づくりというキーワードの観点からも、非常に重要な予算立てになるのではないかと思います。もう一点、独身男女の出会いサポート事業を実施しておりまして、あさってですが市民会館において男女20対20のパーティーが行われます。現在は2団体が企画する事業への補助事業というかたちで実施しております。しかし、単年度ごとの単発事業でありますので、もっと継続的かつ安定的に出会いの場を企画できるような組織づくりが必要だと思います。そのための準備委員会、講師を呼んで勉強したり、サポーターを養成するようなそういう組織をつくるということで少し予算的な部分で検討をいただけないかと思います。私からは以上です。

委員

学校給食センターについてですが、施設内の高所に設置してありますエアコンのクリーニングに要する経費が必要になりますのでお願いしたいと思います。

次に、スポーツ関係ですが、先ほど少し市長からお話がありましたが、オリンピックの誘致活動への取組に対する経費についてお願いしたいと思います。くろべ名水マラソンのように、スポーツを通じた市民の盛り上がりということも大切かと思います。

次に、子どもたちの運動に親む機会の不足が問題化しております。幼少期からの運動習慣化を促すための取り組みについて事業を実施してまいりたいと考えております。

図書館につきましては色々話題になっておりまして、我々も先日塩尻市、安曇野市を視察してまいりました。ハードだけでなくソフト面も含めてすばらしい部分もたくさんありました。それを来年の予算でどうということはないのですが今の時点では図書館資料の充実ということと、今後の建設設計に向けての準備ということでご配慮いただきたいと思います。私からは以上です。

市長

それぞれご意見なりご要望を頂きまして大変重要な項目ばかりだと思っておりますので、その実現に向けて来年度の予算立てに努力して行きたいと思っております。

ちょうど来年度予算編成もまとめの段階に入っておりますので、できるだけ実現していければという考えですが、今お二方が言ったメーコン・ビブ郡への中学生派遣につきましては、事情をご存知のように隔年になっております。行けない学年が出てきているということはやはり問題があると認識しております。それをどうクリアしていくかということについては、2年生と3年生で人数を増やすというのは一つの方法かなと思っております。あとは、先方の受入れ体制として、十数人がホームステイできる体制が大丈夫なのかということもあります。先方とも相談させていただきまして、できるだけこちらの要望にに応じていただけるよう努めてまいりたいと思っております。もう一方のオランダの姉妹都市につきましては、現在のところ姉妹都市交流ができるような状況ではないということでありまして、そこを無理にというようには考えておりませんので、メーコンとその辺の調整をしていく必要があるのかなと思っております。

学校給食センターの件、市P連の補助金の問題、男女の出会いの件については、教育委員会とも相談させて頂いて来年度予算に向けてできるだけ予算割りできるように努めていきたいと思っております。

図書館については規模や内容をどのようにしていくのかについては、いずれにしても今の図書館のままで今後続けていくのはあり得ないだろうと思っておりますので、すぐにでも動けるようなそういう検討をしておいていただきたいなと思っております。最近図書館も色々なやり方があるようでありまして、色々なことを研究しながらまとめていければと思っております。

私は、これからつくるものは、皆さんに喜んでいただけるものを目指すべきだと思っております。塩尻の図書館については、複合施設ですので、廊下の空間の使い方がうまく、会議室などの共有スペースが工夫されておりました。来る、12月3日の黒部市議会12月定例会の冒頭で旧庁舎の跡地の活用の方向性は発表したいと思っておりますので、この場では具体的な数字は出ませんが、大体皆さんがイメージできるような方向性は3日にお示ししたいと思っております。具体的にどうするかということについては、教育委員会で色々調整してもらって計画を具体的なものにしていきたいと思っております。28年度の議論が非常に重要になってくるかと思っております。計画さえまとめれば動き出したら早いですから、皆さんの期待に応えられる様なものにしたいと思っております。

委員長

みなさん色々な要望があつて、あれもこれもくっつけたいとかあると思っております。色々聞いて難しいなと思ったのが、塩尻はかなり先進的で、今までにない変わったことをやっていました。安曇野はいわゆる図書館といった感じで最新の設備というイメージで、塩尻の方で言われていたのがやはり縦割り行政の中で色々な考え方をうまくつなげていくのが一番苦労したと言われていました。こども支援課と図書館の関係、各部屋の配置、共通スペースの使い方など、縦割りではうまくいかない、同じ様なものを複数つくってしまうなど、無駄がないようにしようと努力されたそうです。安曇野の方は、案内して

くれた方は設計がお洒落でモダンで良いけど使いにくいと言われていました。照明一つ動かすにしても費用がかかるとか、出口のところにひさしが無くて雨が入ってくるということでした。やはり、使う側、実際運営される側の気持ちがわかる設計が必要という印象でした。図書館は実際に運営される裏方の作業が最も大変だと思いましたので、実際に建てる時には配慮が必要だと思います。もちろん、まだその段階ではありませんが、考え方としては、もっておかなくてはいけないと思います。

市長

今、我々が目指している図書館というのは非常に限られた条件だと思っています。敷地4,100㎡のところ駐車スペースなど色々考えたら建物の建築面積が1,600㎡ほどで、限られたスペースと予算の制約の中で、あとは何階建てにするかということになるだろうと思っています。現在、市議会では、公共施設の今後のあり方について、具体的かつ真剣に検討されています。我々が公共施設をつくるわけですが、公共施設を減らそうとしている中で、新しい物をつくろうとしているわけですので、その辺との整合を図りながら、知恵を絞っていくことが重要だと思っています。例えば、この新庁舎の建設にあたっては、延べ13,000㎡の面積の中で、建築面積が10,000㎡以内、駐車場は200台確保するという、厳しい条件での設計となりました。最初から現在のデザインを考えていたわけではなく、限られた条件を整理していったら、このままでは駐車場200台が取れないから、建物の一部を持ち上げて下をくぐれるようにする。そうするとくぐれるだけでなく駐車場スペースも生まれるなどのアイデアが出てきたのだろうと私は思います。その結果、限られた条件の中で、いい庁舎が出来たのではないかと思います。

図書館の建設にしても非常に限られた条件でありますので、しっかりと知恵を絞りながら考えていく必要があります。

委員長

使う人の目線に立つということが大事になってくると思います。現在、黒部の図書館では、小さい子ども連れのお母さんたちも図書館を利用できる日を設けています。その日は、お子さんが多少騒いでも赤ちゃんの泣き声がしてもご理解下さいという取り組みを試験的にやっておられますが、低学年の子どもと赤ちゃんを持っておられるお母さんも、自分が読みたい本を読んだりできる、そういった使う人の目線やニーズに立って声を吸い上げる機会を準備していくことが大切だと思います。複合施設なので本当の本好きだけが集まるのではなく、そこへ行く機会を増やすために様々な人の意見を聞きながら、どんな図書館が使いやすいのかということだと思います。

市長

塩尻の図書館にもそのような取り組みが見られました。入り口に子育てコーナーがありました。雨が降ると小さなお子さんを持った人たちは中々行くところが無い、晴れば外で遊ばせればいいけど、そういった時に図書館に行って、学年、年齢に応じて利用できるとか母親も自分の好きな本を読んだり、そこで親同士のつながりも出来るとか、複合施設を検討する場合に大事なことだと思いますので使用する人達の意見を聞くという機会を設けるとよいと思います。それから、安曇野の図書館は平日にもかなりの人が来館していたように思いました。

委員

図書館自体は15万冊プラス5万冊。1日500人。土日1,000人来られると言っておられてなぜかなと思いました。

市長

安曇野の図書館は、土日に1,000人の利用というのは、すごいと思います。



委員	<p>小さいお子さん連れが多かったので利用しやすいのだろうと思いました。 それから、1人で来ているお父さん世代が多かったように思います。</p>
市長	<p>コラーレでも、年間を通じて、おじさん世代が1人で来て、ゆっくりと本を読んでいるのを見かけます。吉田科学館のプラネタリウムが工事に入って1ヶ月経ちますが、東京の池袋にあるコニカミノルタの会館は雨の日のデートコースになっているそうです。子どもや学生ではなく、若者のデートコースとして、ペアシートが用意してあるそうです。吉田科学館にもペアシートをいくつか設置するなど、若者の行き先の一つに選ばれる会館にしないといけないと思います。少年少女だけでなく若者の利用者を増やすということは大事なことですし、図書館にもそういう工夫も大切かと思っております。</p> <p>その他に何かご発言ございませんでしょうか。…無いようでありますので、本日の会議はこの程度にとどめまして、教育会議を終わらせていただきたいと思います。なお、本日いただきましたご意見等につきましては、今後の教育行政、事業等にも活かしていくということで、よろしく願いいたします。</p>
事務局 (学校教育課長) 委員長	<p>閉会にあたりまして、村田委員長からご挨拶をいただきたいと思います。</p> <p>本日は、2回目の大綱協議ということで、中身についてもかなり固まってきたと思っております。来週からは市議会の本会議が始まりますが、平成28年度の教育予算について、まずは教育委員会の要望を聞いていただきましてありがとうございます。2月の大綱策定に向けまして、本日の協議を反映し、黒部市教育行政の基本方針をわかりやすく伝えられるものになればと思います。本日はありがとうございます。</p>
事務局 (学校教育課長)	<p>これもちまして第2回黒部市総合教育会議を閉会させていただきます。</p>
終了時刻	午後3時40分
傍聴者	1人